

グルマーイの言葉についての瞑想

イーシャ・サーデサイ

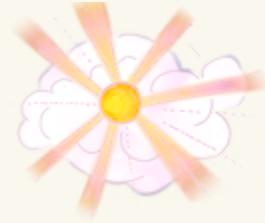
あなたの中にある神の光

グルマーイは 2026 年のメッセージの最後の行、「意識を啓発しなさい」について話しました。グルマーイはこの行がどれほど重要かを強調し、そしてその彼女の言葉は今でも私の意識の中に染み込んでいます。グルマーイのこの教えについて私が当初熟考したことは多岐にわたるので、ここでそのすべてを共有することはありません。

しかし、グルマーイがメッセージのこの行について話した際に与えた、ある教えに焦点を当てます。グルマーイは言いました。「あなた自身を過小評価するように、誰も求めてはいません。あなたは神の光となるべきであり、そしてあなたはまさに神の光なのです」

グルマーイは、太陽を崇拝し、北半球で光が増す季節を祝うマカラ・サン克蘭ティに、このサツァングを開催しました。グルマーイの教えを振り返ると、グルマーイが太陽のイメージを用いて、いかに私たち一人ひとりが神の光の延長であるかを理解させようとしてきたかを思い出します。グルマーイは、彼女の講話や詩の中で、私たち一人ひとりをキラ——インドの言葉で全能の太陽から放射状に広がる光線——に例えています。これは、慰めと教訓を同時に与えるイメージです。それは神の光が私たちの内側に永遠に宿っていると確信させてくれます。また、私たちはこの光を授かっている以上、その光を他者と分かち合い、この世界での交流の中にもたらす能力と義務を持っていることも示唆しています。

そこで、皆さんに尋ねたいことがあります。あなたはどのように自分の内側にある太陽の光を体験してきましたか？ あなたはその光を世界と分かち合っていることを、自分自身で認めていますか？



© 2026 SYDA Foundation®. 著作権所有。